

効果概要: 宮城県大崎市の米袋排水機場は、「平成27年9月関東・東北豪雨」における一級河川鳴瀬川水系渋井川の堤防決壊により、1.5mの浸水被害を受けた。耐水対策等として防水扉の設置や除塵設備の減速機架台嵩上げ等を行ったことにより、令和4年7月15～16日の大雨における浸水被害を防止することができた。

府省庁名: 農林水産省

- **事業実施主体:**
農林水産省東北農政局
- **対象施設:**
米袋排水機場

- **対策の概要及び事業費:**
 - ・ 浸水被害防止のため、耐水対策として、建屋に防水シャッターや防水扉を設置。
 - ・ 併せて、屋外の除塵設備の浸水対策として、減速機架台の嵩上げ等を実施。

事業名	事業費	対策期間
防災情報ネットワーク事業	5200万円	R2～R3
うち3か年緊急対策	5200万円	R2～R3



排水機場建屋の耐水対策



除塵設備の浸水対策

対策の
効果

大雨による浸水被害を防止

令和4年7月15～16日の大雨において、平成27年9月の関東・東北豪雨を超える雨量を観測し、再び浸水が発生したものの、事前に耐水対策を講じていたことにより、ポンプの浸水被害を防止することができた。

対策前

- ・ 平成27年9月関東・東北豪雨(日雨量 : 192.5 mm、最大時間雨量 : 43 mm)において、ポンプの浸水被害が発生



浸水時の最大水位(1.5 m)

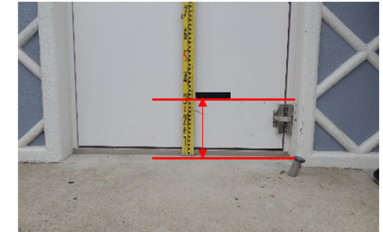


ポンプの復旧状況

(災害復旧事業(H27～H28年度))

対策後

- ・ 令和4年7月15～16日の大雨(日雨量 : 196.5 mm、最大時間雨量 : 74 mm)において、ポンプの浸水被害なし



浸水時の最大水位(28 cm)